

# 今回答申される本県関係の文化財の所在地等

## 国登録有形文化財(建造物)

### 小牧醸造石蔵(こまきじょうぞういしぐら)

- 【所在地】 薩摩郡さつま町
- 【建築年代】 大正7年頃/平成9年改修
- 【構造】 石造平屋建, セメント瓦葺
- 【建築規模】 面積125㎡
- 【登録基準】 国土の歴史的景観に寄与しているもの

川内川と穴川の合流地に位置する焼酎の造酒屋の石蔵。大正の火災後の再建と伝え、溶結凝灰岩の組積造とし耐火性を高める。小屋は木造キングポスト・トラスを組み、切妻造の屋根を架ける。当地域の近代期に特有の石蔵で、川内川河畔の歴史的な景観を伝える。



提供：さつま町教育委員会

# 今回答申される本県関係の文化財の所在地等

## 国登録有形文化財(建造物)

### 小牧醸造煉瓦造煙突(こまきじょうぞうれんがづくりえんとつ)

- 【所在地】 薩摩郡さつま町
- 【建築年代】 大正7年頃/平成5年移築
- 【構造】 煉瓦造
- 【建築規模】 基部一辺1.15mの方形 高さ8.76m
- 【登録基準】 国土の歴史的景観に寄与しているもの

醸造用のボイラーにかつて併設していた煉瓦造の煙突。石蔵の南西に建つ。基部は一辺1.15メートルの方形で高さ8.76メートル。イギリス積で上部を窄め、頂部に蛇腹を廻らし装飾とする。造酒屋のランドマークとして親しまれる。貴重な煉瓦造の煙突。



提供：さつま町教育委員会